

意見書案第10号

新型コロナウイルス「オミクロン株」の感染拡大防止への対策強化を求める意見書案を提出するについて

宇治市議会会議規則第14条第1項の規定により、見出しの議案を別紙のとおり提出する。

令和3年12月24日提出

提出者 宇治市議会議員 宮本 繁夫

同 山崎 恭一

同 坂本 優子

同 渡辺 俊三

同 山崎 匡

同 大河 直幸

同 徳永 未来

宇治市議会議長 堀 明人様

新型コロナウイルス「オミクロン株」の感染拡大防止への対策強化を求める意見書

新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」の感染者の報告が世界各国で相次いでいる。世界保健機関（WHO）は、世界的なリスクは非常に高く、さらに拡散する可能性がある」と指摘している。日本の国立感染症研究所も警戒度が最も高い「懸念すべき変異株」にリスク評価を引き上げた。オミクロン株の感染力の強さや重症化リスク、ワクチン効果への影響など詳細はいまだ分かっていない。デルタ株の感染爆発を教訓とし医療・検査体制の総点検と強化を図ることが急務となっている。感染者数が減少する中で、行動制限が緩和されてきているが、感染状況に厳重な注意を払い、リスクがあれば行動の制限を再び強化するなどの機敏な判断と対策も重要となっている。その際、営業や暮らしに打撃とならないよう補償などの対策が不可欠である。

よって、国におかれては以下のとおり対策されるよう求める。

1. 入国時の検査は抗原定量検査をより感度の高いPCR検査に戻し、待機日数は一律10日間にできるように宿泊施設を確保し、PCR検査を繰り返すなど、水際対策を強化すること。
2. 外来診療、入院医療の体制強化を実施するとともに、疲弊した医療機関全体への財政支援を行うこと。病床削減、診療報酬の引き下げをやめ、医療の基盤強化を進めること。
3. 3回目のワクチン接種について、ワクチンの配分計画を自治体や医療機関に示し、当面は重症化しやすい高齢者などに前倒しで追加接種できるようにルールを示すこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月 日

京都府宇治市議会議員 堀 明 人

衆議院議長 細 田 博 之 様
参議院議長 山 東 昭 子 様
内閣総理大臣 岸 田 文 雄 様
総務大臣 金 子 恭 之 様
財務大臣 鈴 木 俊 一 様
厚生労働大臣 後 藤 茂 之 様
内閣官房長官 松 野 博 一 様
新型コロナ対策・健康危機管理担当大臣
山 際 大 志 郎 様
ワクチン接種推進担当大臣
堀 内 詔 子 様